

ウルトラ建設探訪記

vol. 11

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の建造物

『ウルトラセブン』第2話「緑の恐怖」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>



©円谷プロ

あの時の未来

複線から単線化された名残のトンネル

JR御殿場線は、1889年に東京—大阪間で開通し、1909年に「東海道本線」と名付けられた日本最古の鉄道路線の一部。その後、1934年の丹那トンネル開通に伴って、国府津駅—沼津駅間は支線の「御殿場線」となった（現在はJR東海の管轄）。当初は複線だったが、第二次世界大戦中の1944年、「不要不急線」に指定されて線路などの資材が他の路線に転用され、単線となった。現在も複線だった時代の橋梁やトンネルが廃線跡として残っており、箱根第7号トンネルはその遺構の一つである。



セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第2話「緑の恐怖」では、宇宙ステーションV3から帰還した石黒隊員になりすまして、ワイアール星人が地球に飛来。植物のような姿で人間を襲って増殖し、地球を侵略しようとする。ワイアール星人は、妻にも気付かれないほど巧妙に石黒隊員の姿になりきって活動を続けるも、一連の事件に対し協力体制をとった警察組織とウルトラ警備隊、そしてウルトラセブンによって阻止される。自身への同族化による強制支配を企むワイアール星人と、地球人・セブンの“共生”関係とが対比的に描かれるエピソードとなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る建造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターは
モロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。
二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>